フェロモン剤（交信撹乱用）
オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤

コンフューザー®N

農林水産省登録　第２２９５９号
（信越化学工業（株）登録）
性状：淡黄色澄明油状液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：第四類第三石油類
有効年限：１.５年
包装：５０本×６０

有効成分：（Ｚ）－８－ドデセニル＝アセタート・・・・・・・・・・３６.２％
（Ｚ）－１１－テトラデセニル＝アセタート・・・・・・・・２３.９％
（Ｚ）－９－テトラデセニル＝アセタート・・・・・・・・・　４.８％
１０－メチル－ドデシル＝アセタート・・・・・・・・・・　０.６４％
（Ｚ）－９－ドデセニル＝アセタート・・・・・・・・・・　１.２％
１１－ドデセニル＝アセタート・・・・・・・・・・・・・　０.６５％
（Ｚ）－１１－テトラデセン－１－オール・・・・・・・・・　０.２８％
（Ｚ）－１３－イコセン－１０－オン・・・・・・・・・・　２１.３％

殺虫剤分類　－

コンフューザー®は信越化学工業（株）の登録商標です。

特長

○性フェロモンの特異的作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し、害虫の発生を抑制することを目的としています（直接の殺虫作用はありません）。
○殺虫剤への感受性が低下した害虫にも有効です。
○ハマキムシ類の成分をできるだけ天然組成に近づけることにより、効果が安定しています。
○天敵に対する影響は非常に少なく、人畜毒性もほとんどありません。
○本剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしいです。
○ディスペンサーがツインタイプのため、枝等に簡単に取り付けられます。
○殺虫剤の散布回数の削減が期待できます。
○作物への残留も心配なく、作業者に対しても安全です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	使用目的	適用病害虫名	１０アール当り使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	ナシヒメシンクイ	５０～２００本（５２ｇ／２００本製剤）	成虫発生初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。
		モモシンクイガ チャハマキ チャノコカクモンハマキ リンゴコカクモンハマキ リンゴモンハマキ			
すもも	交尾阻害	スモモヒメシンクイ	２００本（５２ｇ／２００本製剤）	成虫発生初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。

使用上の注意事項

●本剤は、果樹類のモモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、チャハマキ、チャノコカクモンハマキ、リンゴコカクモンハマキ、リンゴモンハマキおよびすもものスモモヒメシンクイ各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、これらの成虫発生初期から、比較的広範囲の地域で使用することをおすすめします。
●本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。また、標準的な使用量は１０アール当り、果樹類：１５０～ ２００本およびすもも：２００本ですが、立地条件や風向、傾斜等により効果がフレる場合があるので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することをおすすめします。
●急傾斜地、風の強い地域等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では、使用しないでください。
●本剤を１５０本未満で使用する場合、ナシヒメシンクイ以外の対象害虫に十分な交尾阻害効果を持たないので注意してください。なお、ナシヒメシンクイを対象に１５０本未満で使用する場合、交尾阻害による密度低下を維持するため、ナシヒメシンクイに対し交尾阻害効果のあるフェロモン剤と組み合わせて使用することをおすすめします。
●本剤は飛来した既交尾雌には効果がないので、特にスモモヒメシンクイを対象とする場合には寄生樹種を移動する場合もあるため、発生源を確認して使用することをおすすめします。
●製剤を直接ふれた手で収穫物を触ると臭いが移るおそれがあるので手を洗ってください。
●外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封して使いきってください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

保管に関する注意事項

●密封し、火気をさけ、直射日光があたらない冷暗所（5℃以下）に保管してください。